

ねらい 就学前施設に近い環境を作ること、安心して入学することができるようにする。

**ポイントと
幼児期とのつながり** 連携先の幼稚園の教職員と合同で、入学式当日の教室環境を整え、新入生児童が不安を感じることなく安心して過ごすことができるようにした。

実践内容

友達とおもちゃを囲んで遊べる空間づくり!!



少し遊んだ風にしておくことがポイント



おもちゃだけでなく、メダカやザリガニもいる空間



【前日準備】

幼稚園の先生の協力を得ながら、全教職員で教室準備

- 教室の机や椅子を取り払い、絨毯を敷き、遊ぶことができるスペースづくり
- 就学前施設に近い環境づくり
遊具（おもちゃ）を置き、絵をかいいたり、折り紙をしたりすることができるスペース
- 教室前のオープンスペースの活用
遊具や絵本、メダカやザリガニなどの生き物を配置



【入学式当日】

入学式受付後、新入生児童は保護者と別れ、6年生に案内されて自分の教室へやって来る。その後は開式までの間、同じ1年生の友達や6年生、教職員と一緒に、教室にあるもので思い思いに遊んで過ごす。少し緊張しながらやって来る新入生だったが、教室にあるもので遊んでいくうちに緊張がほぐれ、初めて会う友達とも自然と会話ははずんでいった。

式後は、教室で写真を撮り、保護者向けに式場で説明をしている担任を待っている間も遊んで楽しそうに過ごした。担任が教室へ戻って来た後は、絨毯の上に座って担任からの話を聞いたが、幼保で話を聞くときのスタイルで安心してしっかり先生の話が聞けた。ドキドキワクワクする小学校の初日を楽しい思い出にできるよう、のびのびとリラックスした雰囲気を作ることを心がけた。

取組を振り返って

入学式初日から椅子に座って先生の話を聞くことは、子どもによってはハードルの高いことかもしれない。就学前施設での遊びの経験が生かせる環境構成をすることで、安心し、友達とふれあい、自信をもつてのびのびと過ごす姿が見られ、担任とも近い距離感で関わり、明日への意欲につながった。